



26チームが一斉にスタート! (伊方駅伝大会)

(関連記事 2 ページ)

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

3月のテーマ“努力をたたえ合おう”

(実践方法)

- 入学、進学、就職を家族そろって明るい希望を持たせよう。
- 就職する子供と、職場における心がまえについて話し合おう。

平成22年
3月1日発行

No.59

3月号

湊浦チーム 6年連続一部優勝

第39回 伊方駅伝大会開催

春の訪れを告げる恒例の伊方駅伝大会が2月14日(日)に開催されました。

今年で39回を数えるこの大会は、田之浦集会所前をスタートして、大浜臨港道口を折り返し、伊方中学校グラウンドをゴールとする18.94kmを競い合います。

心配された天候にも恵まれる中、午前9時30分、森清教育委員長の号砲で、26チームの選手が一斉にスタート。一本のタスキに願いを込め、各チームの選手一人一人が精一杯健脚を競い合いました。沿道には選手達を応援しようと、大勢の方が集まり温かい声援を送っていました。

今年度も、1部ではオープン参加のチ

ム(足成公民館チーム、伊方サーブスチーム)、2部男子には小学校(伊方小6年生チーム、九町ドラゴンズチーム)からの参加もあり、大会を盛り上げていただきました。また、1部2区では大浜チームの矢野吉男さんが大会タイ記録を出す快走を見せくれました。



7人でつないだタスキと共にゴール



選手宣誓は、伊方中野球部萩森勇斗さん

部	順位	チ ャ ム 名	記 録
1部	第1位	湊 浦	1 時間06分21秒
	第2位	大 浜	1 時間08分38秒
	第3位	中 浦	1 時間13分36秒
2部男子	第1位	伊 方 中 バ ス ケ A	1 時間07分20秒
	第2位	伊 方 中 野 球 部 A	1 時間09分14秒
	第3位	伊 方 中 野 球 部 B	1 時間14分04秒
2部女子	第1位	伊 方 中 バ ス ケ 部	1 時間19分27秒
	第2位	伊 方 中 バ レ ー 部	1 時間26分53秒
	第3位	伊方中ブラスバンド部	1 時間38分00秒



1部優勝の湊浦チーム

初春を爽やかにタスキリレー

第42回 三崎駅伝大会

初春の柔らかな日差しが降り注ぎ、絶好の駅伝日和となった1月17日(日)伊方町体育協会三崎支部と三崎公民館主催による第42回三崎駅伝大会が開催されました。

運動習慣や健康づくりの機運を盛り上げ、活気ある地域社会づくりに寄与することを目的に開催された本大会に37チームが参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。午前9時30分に佐田岬小学校前をスタートした選手たちは東の三崎地区へ向い井野浦地区を折り返し三崎総合体育館前にゴールする総距離15.6kmを走りました。中学男・女、高校男子、一般男・女の5部門は5人で昨年から新設された

ピギナーの部は7人でタスキをつなぎました。参加チーム数も3年連続の増加となり、三崎高校の片岡雄太君が17年ぶりに区間記録を塗り替えるなど10の新記録がでました。また、大会運営に三崎中学生や三崎高校生がボランティアスタッフ



先生と一緒にゴールする小田寛之君



選手宣誓をする。ザ・仕事人の石井雄太君

三崎駅伝大会部門別優勝チーム

中学男子	三 中 3 年	59分46秒
中学女子	三崎中ソフトテニスA	1時間07分27秒
高校男子	32R 駅 伝 部	54分18秒
一般男子	消防署第一分署	1時間01分14秒
一般女子	三崎高校女子バレーボール部	1時間04分38秒
ピギナー	ス ポ 少 I	1時間04分04秒



黄色いユニホームが鮮やかな西チーム

厄年、還暦のみなさんが集う

～成人講座～

2月7日、生涯学習センター5階多目的ホールにおいて平成22年伊方町成人講座を開催しました。この事業は、厄年といわれる33歳の女性、42歳の男性並びに61歳の還暦の男女が一堂に集い、学習や交流の場を通じて今後の家庭や町づくりを考える日として実施しています。

この日は、49名のみなさんにご参加いただき厄払いの神事や記念写真撮影を行った後、成人講座を行いました。今回の講座の講師は、四国八十八ヶ所霊場第45番札所岩屋寺住職大西善和先生です。「今を生きる」という演題で講演をしていただきました。

生き方で大切なことは、「マン



大西善和住職

全に育っていく基になります。」という話で締めくくっていただきました。講演の後は、懇親会を行い交流を深めました。



平成21年度 伊方町女性のつどいを開催

～伊方町婦人会～

1月17日(日)、地域の女性指導者約70名が一堂に会し、平成21年度伊方町女性のつどいが開催されました。

この事業は、「健康で明るく心豊かな住みよい町づくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、伊方町婦人会(渡辺紀代会長)と町教育委員会が共催し、毎年実施している事業です。

今年度は「インターネット等の安全・安心利用に関する啓発講

座」として、NTTドコモあんしんインストラクターの村口千夏先生を講師にお招きし、「ゲータイ安全教室」を実施しました。携帯電話でインターネット等を利用するにあたっての注意点、有害サイトやネットトラブルなどの危険性、それらの対処方法等を分かりやすくお話ししていただきました。

啓発講座終了後、伊方スポーツセンターの浅岡良美さんを講師に迎えて、「健康講座」をおこ



ない、参加した皆さんは気持ちの良い汗を流されました。運営された役員の皆さん、お疲れさまでした。

町PTA研究大会開催!

1月16日、三崎小中学校体育館において伊方町PTA研究大会が開かれ、町内の小中学校と三崎高校のPTA会員及び町教育委員会関係者およそ200名が集まりました。この大会は、家庭・学校・地域が連携・協働して児童・生徒の安全を守り、命の大切さを教え、豊かな心、生きる力を育むために、活動の在り方を研究することを目的に毎年開催されています。

町PTA連合会塩崎会長の開会あいさつの後、昨年度町PTA連合会長を務められた、小笠原栄治さんに感謝状が贈られました。このあと、KANSAIこども研究所所長 原坂一郎先生より「言葉ひとつで子どもは変わる」笑顔はヤル気の起爆剤」と題して講演がありました。この日は、4つのキーワードを元に講演が行われました。ここでは、3つめの「笑顔になる言葉をかけると子どもは素直になる」について紹介します。



原坂一郎先生

集まった会員のみなさんは、熱心に講演を聴いておられました。また、もっと早くこの講演を聴いていればといった声も聞かれました。

我が子を褒める事は他人行儀で言いにくい、子どもが行ったことを言葉に出して言うことで子どもは認められていると感じ、言ってもらい続けることで行動が定着する。また、効果のない叱り方として、5W(いつ、どこで、だが、なにを、どうして)での言い方がある。例えば「いつまでテレビを見よるの!」「何をしよるの!」といった言葉。子どもから言わせれば、文句を言われているだけなので行動の直しようがない。やるべきことやどうしたらよいかをストーリーに言うことが大切。前段の例を言い換えると、「テレビを消して寝なさい!」「OOOはしてはいけません!」というように、「嫌は怒ることではなく、教えることです。」と丁寧にわかりやすく話が進みました。



公民館だより

平成22年度『陶芸教室』

受講生募集のお知らせ

中央公民館

粘土をこね、成形、釉かけ...と、それぞれの過程を楽しみながら陶芸に親しんでみませんか。受講生を次の要領で募集します。ご希望の方はお申し込み下さい。

◆開設場所

伊方町地域振興センター
4階 民芸品試作実習室

◆期間

4月～3月までの第2・4日曜日(原則)

◆講師

1日/1ヶ月

◆時間

Aコース 10時～12時
Bコース 13時～15時

◆会費等

1ヶ月500円

前期(4～9月)と後期(10～3月)の
2回に分けて徴収、材料代は実費

◆募集人員

各コース20名 合計40名

◆申込方法

電話にて住所・氏名・性別・連絡先等
をお知らせ下さい。

◆申込先

伊方町中央公民館

TEL0894-38-1020

◆申込期限

平成22年3月19日(金)

◆その他

詳細につきましては、中央公民館まで
お問い合わせ下さい。



交流の輪を広げ人権の花を咲かせよう

あこ樹学級・婦人学級交流研修会

三崎公民館

新春の爽やかさ覚めやらぬ1月9日、町見公民館と三崎公民館の人権学習グループ「婦人学級」と「あこ樹学級」が交流研修会を行いました。

この交流研修会は、お互いの活動状況等の情報交換を行ったり交流の輪を広げたりすることを目的に平成19年度から行っています。今回は三崎公民館で、調理実習とお互いの学級の活動報告会、午後からは軽スポーツをして情報交換や親睦を深めました。

調理実習では、高野豆腐のあべかわやハマチの味噌煮、じゃこことわかめの梅酢和えなど5品を作りました。皆さん事前に配られたレシピを参考に各学級の枠を超えて協力しながら作っていました。

活動報告会では、自分たちで協力してつくった料理に



レシピを参考に調理実習



軽スポーツで親睦を深める学級生

舌鼓を打ちながら、情報を交換し合いました。会話は弾み、活動報告だけでなく次回交流会の計画まで行つなど、とても有意義な情報交換会となっていました。

午後のスポーツ交流会では、各学級混成の2チームに分かれ、スカットボールと輪投げを楽しみました。昼食の腹ごなしに丁度良い運動になったのではないでしょう。

これからも、お互い親睦を深めたり、交流の輪を広げたりし、伊方町に美しい人権の花を咲かせてゆきましょう。

「男の料理教室」

町見公民館

1月29日(金)、町見公民館において、第4回「男の料理教室」が開催されました。今回も、第1回と同じく中央保健センターの伊方町食生活改善推進協議会を活用させていただき、会長の得能純子さんをはじめ、5人のみなさんを講師にお迎えし、町見地区にお住まいの男性と、ミセススクール学級生を対象に実施しました。



教室では、始めに会長さんのあいさつがあり、講師のみなさんに食事や生活習慣に関する資料説明をしていただき、調理に入りました。いつもと違って女性の参加が多かったため、とてもスムーズに、手際よく調理をしていました。調理後は、自分たちで作ったおいしい料理を囲み、和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。

新年度も引き続いて楽しく「男の料理教室」を開催する予定です。随時、「ふれあいいかた」等で案内をいたしますので、参加をお願いいたします。

雪山スキー教室

瀬戸公民館

2月6日(土)、スキーの醍醐味を体験しようと、小田スキー場にて、毎年恒例の雪山スキー教室を開催しました。

当日は、瀬戸地域の小学5・6年生15名が参加しました。小田スキー場は、遠くの景色もはっきりと見える絶好のコンディションで、気持ちよくスキー教室に望むことが出来ました。

教室は、スキーの経験がある組と初心者組(自信のない経験者も含む)の2組に分かれて行い、それぞれの組にインストラクターの方がついて教室を進めていきました。

午前中は、全長400mの広く緩やかなファミリコース【初心者用】で、基本の技術などを学んでいきました。初心者組は、はじめに平らに近い場所、スキーの基本を教えてもらい、その後リフトに乗って頂上からゆっくりと指導をうけながらグレンデを滑り降りていきました。経験のある組は、最初からすべにリフトに乗って何度グレンデを滑っていきながらいろいろなスキー技術に挑戦していきま



午後から、経験者組は、幅の広い全長1200mの変化に富んだアイデアルコース【中級者用】にも挑戦しました。さすがに怖いとも思ったらしいですが、滑り終えたという満足感が表情に表れており、ファミリコースに戻ってからは自身をつけたかのような余裕のある滑りをしているようにも感じました。初心者組も、ファミリコースのリフトに何度も乗っては、本格的に滑りを楽しんでいました。最初は何度も転んでいた子も、帰る頃には見違えるように上達していました。普段なかなか経験することのない冬山でのスキーとあって、子ども達の表情も自然と笑顔になっていく事が多かったようにも感じました。

今回のスキー教室では、リフトにたくさん乗ることが出来たし、本格的なロングクルーシングのコースにも挑戦することが出来ました。参加した子ども達にとっても十分にスキーを満喫できるものであったと感じています。また、スキーの向上はもとより、学校、学年を超えた友好の輪も広げる良い機会になったのではないかと感じました。



読書の「おもしろさ」を実感!!

子どもの読書活動推進事業(県委託事業)

2月9日、九町小学校において子どもの読書活動推進事業が実施されました。この事業は、地域・家庭と学校が連携し読書活動の推進を図り、子どもたちに読書の楽しさをやすらひさを教えることを目的とした県の委託事業です。愛媛県PTA連合会の主催で継続実施しているもので、今年度西宇和郡での開催となりました。

この日は、平成17年度から九町小学校で読み聞かせ活動をしている有志の方4名による読み聞かせからはじまりました。低学年と高学年にわけ高学年は「ふくはつちおにもつち」「つるのおんがえし」の読み聞かせを行いました。児童の皆さんは、熱心に耳を傾け絵を真剣に見ていました。

講演は、元南海放送アナウンサーで現在ラジオのパーソナリティーや大学講師など各方面で活躍されている宇都宮民先生です。「読書のタネをまく」と題してお話をいただきました。宇都宮先生の方言を交えた言葉遣いで、自分の子どもの時の話から始まり自分の子どもへの本のプレゼントの話や子どもが読んでいる本の話など実体験に基づく話をしていただきました。また、「じゅげむ」の読み聞かせも行っていました。

み聞かせも行っていました。声の強弱、表情の豊かさなどから、楽しさが伝わってくる感じが児童の皆



講師の宇都宮民先生



児童・保護者をそれぞれ配役し、「くじらぐも」を完成!

さんは笑顔で保護者の方は引き込まれるように真剣に聞き入っていました。講演の中には、児童の皆さんが学年別に声を合わせて発表したり、参加された保護者や先生方が参加する場面もあり、言葉を声に出すことの楽しさを体験し低学年の児童のみならずも70分間を飽きることなく話が進みました。好きなことの中に「本を読むこと」が入っていれば良いとか好きな本を見つづけること、またその本をタイミングよく子どもに読ませること。また、「本にふれあう場」をつくるなど大切なポイント等の提案もいただきました。

多くの児童・生徒が参加

伊方健康マラソン大会開催

1月17日(日)伊方健康マラソン大会が町見体育館前をスタート地点として開催されました。コースはA(1.8km)、B(2.5km)、C(4.0km)の3コースでおこなわれ、この日集まった192名の参加者はピストルの合図とともに元気よく各コースに飛び出しました。

上位入賞を目指す者、マイペースで完走を目指す者、目標はそれぞれでしたが、天候にも恵まれるなか、みなさん颯爽とコースを駆け抜けていました。

心地よい汗を流した後は、閉会式のお楽しみ抽選会で当選番号の発表



一斉にスタート



閉会式のお楽しみ抽選会

チョコレートを使ったお菓子づくり

第3回 ライフアップ講座

1月21日(木)、第3回ライフアップ講座を開催しました。

この講座は、「従来の男女についての固定化した意識やライフスタイルを見直し、心の豊かさや教養を高め、社会において必要な知識や技術を習得する」というテーマのもと、年間5回の開催予定で実施しているものです。

第3回は「チョコレートを使ったお菓子づくり」と題して、八幡浜市の大下初代先生を講師に迎え、愛情をスパイスにした



白あんをチョコレートでコーティングした「チョコまん」

「あま〜い」お菓子づくりを体験しました。当日は、チョコレートを使って4種類のお菓子づくりを体験し、参加した皆さんは終始笑顔で楽しい時間を過ごされました。



熱心に先生の説明を聞く受講生



学校通信



地域とともに育つ「学芸会」

二見小学校

二月七日、二見小学校体育館で恒例の「第二十六回二見地区ふるさとまつり」が行われました。早朝より亀ヶ池生活協議会の方や八幡浜漁協町見支所女性部の方々が二見小学校で活動されます。

その中、子どもたちは九時三十分より、五年守田桜菜さんの「学芸会みんなが主役だ」「一見っ子」のスローガンのもと、元気いっぱい学芸会を行いました。初めての学芸会で緊張の面持ちの一年生が、元気いっぱい開会挨拶をしました。そして、町音楽会で披露した「和太鼓キッズ・フェスタ」全員合唱に続き、保育所の見事な踊り、各学年の劇を披露していき

ました。

特に今年は、少林寺拳法伊方同院の演武も出演して頂き、初めて見る本物の演技に感動の輪が広がりました。体育館後方では、地域の方の力作がたくさん展示され、子どもたちの興味や意欲をかき立ててくれました。

最後には、餅まきが行われ、満足した面持ちで家路につく二見っ子の姿がありました。地域と一体になって、子どもの健全育成に関われる恵



まれた環境がいつまでも続くことを祈りつつ・・・

児童の日記より

今日は、学芸会がありました。最初の「八木節」で少し間違えそうになっただけ、先生の指揮をよく見て楽しく演奏できました。三・四年生の劇では、話す言葉や振り付けが工夫されていて、とてもおもしろかったです。一・二年生の劇は、五人がそれぞれの役割を上手に演じていて、まじめに働くことの大切さを感じました。五・六年生の劇で、私は間違えてしまうと思っていましたが、落ち着いて出来たのでホッとしました。終わってから母に、「よかったよ!」と言ってもらったのでうれしかったです。また、地域の方にも「二見の子は劇がうまいなあ!」と言ってもらえ来年も一生懸命がんばろうと思います。

体育館の後方には、地域の方の作品が展示されていて、大人になったらこういう作品が作れるのかと驚きました。

学芸会

『のつても』キキ2010「童年」と考えるだけで、わくわくします。いい年にしましょう!!

三学期がスタートしたと思ったら、一月は行く...といわれるように、あっという間に時がたち、一月三十日(土)に学芸会を行いました。

一 はじめのことは元氣な一年生

二 天地人〜オープニングテーマ〜

伊方町音楽発表会でも演奏した曲です。昨年の大河ドラマのテーマ曲をやさしく、雄大に、心を込めて演奏しました。

三 スイミー(二年)

二年生の国語で学習した「スイミー」を劇にしました。

一人二役、道具係とそれぞれの役割を楽しく演じました

四 三年とうげのあまのじゃく(三年)

子どもたちがよく知っている三年とうげのお話を六名の子どもたちにあわせてアレンジしました。

「三年とうげで転んだならば三年きりしか生きられない」「一遍転べば三年で十遍転べば三十年...」

ネガティブからポジティブへの発想の転換



五 金のおもり銀のおもり

有名な昔話を佐田岬風にアレンジしました。

六 空にちろがききたいな

(群読・合唱)

七 三色ずきん

皆さんご存じの赤ずきんをモチーフに、五年生八名が台本を書きました。おおかみの意外な本音でハッピーエンド

八 青い鳥(六年)

チルチルミチルが探した幸せの青い鳥は結局最も身近な自分たちの鳥籠にいました。さて私たちの「青い鳥」はどこにあるのでしょうか。歴史を通して、真の平和とは何かを考えていきました。

九 おわりのことは最後の学芸会

六年生

各学年とも少人数のため、一人何役もあります。せりふも多く苦労しますが、一人ひとりがみんな欠くことのできない主役です。人前力を育てる絶好の機会となりました。保護者の皆様や地域の皆様にご協力いただき、盛り上げていただきました。ありがとうございました。



佐田岬小学校



図書館だより



3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	(13)
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	(27)
28	29	30	31			

○…おはなし会
■…休館日

利用案内

- 開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）
祝日、月末図書整理日、年末年始、特別図書整理期間
- 瀬戸・三崎地域の方へ
瀬戸地域市民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607

新着図書

●オススメ



・ちか100かいだてのいえ

／いわいとしお 作

〈内容紹介〉

地下100階でパーティーがあるから遊びにこない？クウちゃんは、誰かから誘われ、思い切って行ってみることに。地下100階までたどりつけるかな？「100かいだてのいえ」シリーズ第2弾。

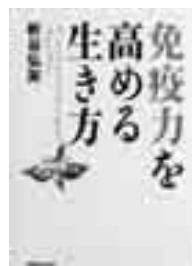


・もしも学校に行けたら

／後藤健二 著

〈内容紹介〉

長年続いた内戦、多国籍軍とテロリストの戦闘で多くの人が苦しい生活を強いられているアフガニスタン。タリバンがいなくなったことで学校に通えるようになった、少女マリヤムの物語。



・免疫力を高める生き方

／新谷弘実 著

〈内容紹介〉

免疫力を高め、細胞を元気にすることが、若さと健康を手に入れる最大の秘訣。「病気になる生き方」のDr.新谷が、10年度の元気な自分を保証する「健康の貯金」を提案します。



・水死

／大江健三郎 著

〈内容紹介〉

終戦の夏、父はなぜ洪水の川に船出したのか？母が遺したトランクにあった父親関係の資料を手がかりに、小説を書こうとする作家、長江。作業を通じて自らの精神の源流としての「深くて暗いニッポン人感覚」を突きつけられ…。

〈児童〉

- ・さかさことばのえほん 小野 恭靖 作、高部 晴市 絵
- ・エルマーのとくべつな日 デビッド・マッキー ぶん・えきたむらさとし やく
- ・アンパンマンとみるくぼうや／やなせたかし 作
- ・ふたつの花 いもとようこ 作・絵

ほか

〈一般〉

- ・親鸞 上・下 五木 寛之 著
- ・化身 宮ノ川 顕 著
- ・トギオ 太朗 想史郎 著
- ・森田欣也句集 恋×涙 森田 欣也 著
- ・愛するものたちへ、別れのとき 小田 寛之 著
- ・男おひとりさま道 上野 千鶴子 著
- ・毒を出す！「新食べ合わせ法」 増尾 清 著
- ・おっぱい先生の母乳育児超入門 平田 喜代美 著
- ・イチロー式モチベーション革命 児玉 光雄 著

ほか

お知らせ

- ・図書利用カードをお持ちの方で、進学・就職等により4月以降に転居予定のある方は、変更登録をしていただきますようよろしくお願いします。変更の手続きは図書館カウンターでできます。

3月上旬よりインターネットから図書館で所蔵している資料の検索や予約ができるようになります。

蔵書検索ページは伊方町のホームページからお入りください。

○インターネット予約をする上での注意点

※インターネット予約をする場合は事前に図書館利用登録が必要です。

手続きをする場合はカウンターにお越しください。

- ・予約できる資料は貸出中のもので、冊数は1人2冊まで
- ・AV資料(CD・DVD)、辞書、辞典類は予約できません。
- ・雑誌の最新号は予約できません。

ピップスおはなし会のごあんない

～今月のおはなし会～

日時：13日(土)・27日(土)

午後2時～

場所：図書館 おはなしコーナー

対象者：未就学児童および親子

小学校低学年児童

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんなきてね！



伊方スポーツセンターより



水中ウォーキング教室のご案内

- 【期 間】 3月2日・9日(第一、第二火曜日)
 【時 間】 10:00~10:40
 【対象者】 一般成人男女
 【場 所】 伊方スポーツセンター 2階 プール
 【受講料】 施設使用料のみ 200円/(1回)
 【持ち物】 水泳道具
 【内 容】 2月の教室が好評でしたので3月も行います!!
 ただ歩くだけじゃつまらない! 腰痛、肩こり
 予防や、二の腕、ウエスト、太もも、お尻シェ
 イプなどに効果的なウォーキングをご紹介します。
 また、リラクゼーション効果のある、浮きポー
 ルも使用します。

ストレッチポールの日

- 【期 間】 3月4日・18日(第一、第三木曜日)
 【時 間】 19:30~20:00(約30分)
 【対象者】 一般成人男女(60才まで)
 【場 所】 伊方スポーツセンター 3階 会議室
 【参加料】 施設使用料のみ 200円/(1回)
 【持ち物】 室内シューズ、動きやすい服装
 【内 容】 ストレッチポールとは、身体の姿勢を整え、
 バランスの良い体に戻す為の「コアコンディショ
 ニング」を行う道具です。ストレッチポール
 使用後には多くのお客様が、「肩、腰、背中が
 緩み、リラックス出来た」、「背中がベタリ床
 に着いた」などの感想を頂いています。
 日常生活でコリ固まった身体をほぐしませんか?

この他、様々な運動教室を行っていますので、くわしいお問い合わせは下記にご連絡下さい。

伊方スポーツセンター 38-1100 38-0776

見 遊 館 より

ペタスタンプを作しましょう!

3月20日(土) 午後2時から、ペタスタンプを作
 りましょう!

ペタペタおすのが楽しいスタンプ。自分だけのオリジ
 ナルスタンプを作ろう!!

参加ご希望の方は生涯学習センター内児遊館まで申
 込みして下さい。

参加費：無料。

映 画 上 映 会 の ご 案 内

3月13日(土) 児遊館にて映画上映会を行います。
 室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し
 ください。

場 所 児遊館内 集会室

作 品 名 ゲゲゲの鬼太郎 ~ 激突!! 異次元妖怪の大反乱 ~

上映時間 1回目 10:00~11:10
 2回目 15:00~16:10



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-0211(内線856)

ライフアップ講座のご案内 (第5回)

春と言えば、桜。桜と言えば、お花見!!

第5回のライフアップ講座は、「お花見」をテーマに
 した料理作りを開催します。

今年は手作りのお弁当をつくり、家族、友人とお花
 見に出かけてみませんか?

日 時 3月17日(水)
 18:30~20:30

場 所 伊方町中央公民館 3階 調理実習室

内 容 「お花見弁当で春満開」

講 師 高石 洋子 さん
 (伊方町中央保健センター 栄養士)

定 員 20名程度

受 講 料 500円(当日集めます)

持 参 品 エプロン、三角巾

申込方法 3月12日(金)までに住所・氏名・電話番
 号を生涯学習課へご連絡下さい。

伊方町教育委員会 生涯学習課

TEL 38-2661

FAX 38-1179



スケッチ



地デジ化しました!

ふだんは佐田岬みつけ隊の活動写真スライドを放映中! 好評ですぞ。

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 38-2661 生涯学習課
■開館時間 9:30~16:30
■休館 月曜日ほか

◆今月のきょうどかん◆

2010年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■—おやすみ ■—夜スライド上映

ご てん ひな
御殿雛満開です♪

毎年恒例となってきましたロビーの雛人形展示、今年も登場です。

今回は毎年飾っている昭和37年宇和島市で購入の御殿雛に加えて、昭和12年八幡浜市で購入の御殿雛も登場! どちらも町内の方からの寄贈で、郷土の時代と暮らしぶりを映す大切な歴史資料でもあります。戦前戦後の御殿雛が一堂に見られるのは今だけ! ぜひお誘いあわせでご観覧ください。(3月末まで)



町見郷土館から

波止が語る歴史

佐田岬半島は、海を通じて交流の歴史がありました。その海と地域社会を結んだのが波止です。町内には実にさまざまな波止が築かれています。

三机の「須賀の森」が海上に見事な砂嘴を形成して、古代から続く鎮守の森となっているのは、さながら天然の波止といえるかもしれません。人工の波止と神社といえば、

明神の泊にある客神社前の波止です。青石の自然石を丁寧に積み上げた波止は、後の補修も受けずにはいますが、素朴で美しさすら感じます。航海安全の神様として古くから知られた神社と「泊」の地名に違わぬ、



明神泊の波止

良き停泊地の歴史がうかがえます。

波止と集落の関係も重要で、大成は天保十一年(一八四〇)に古田仙右衛門が、鳥津は慶応二年(一八六六)に鳥津茂市が防波堤を築いて、集落として発展しました。また正野にある旧正野谷棧橋は、地元で軍用棧橋とも呼ばれ、豊予要塞の砲台建設のために、昭和二年(一九二七)頃建造されました。(国登録有形文化財) 中之浜の地区西側に伸



中之浜西側の波止

びた波止も、実は知られざる歴史遺産。先端付近に埋め込まれた花崗岩の円柱には、以下のような碑文があります。「文久二年壬戌八月吉日作/棟寮穴井浦政市/組頭榮治郎/五人組 平蔵/菊石ア門/世話方 八左ア門/弥兵/吉蔵/金蔵」。なんと文久二年(一八六二)に穴井(八幡浜市)の棟梁政市が作ったとあります。やや改修を受けていますが、江戸時代の波止が現存し、建造年と製作者が判明する例は極めて稀です。

あなたの家のご近所の波止も、今度ゆっくり眺めてみてください。

佐田岬民俗ノート

58

「佐田岬半島の初盆行事」が 国の選択無形民俗文化財に！

伊方町内に伝わるお盆の行事が、国の文化財のひとつに選ばれました！

（平成22年1月15日文化審議会にて文化庁長官に答申）

どんな行事が選ばれたの？

どういう点で選ばれたの？

選択無形民俗文化財って？

「佐田岬半島の初盆行事」の名前どおり、町内全域で、お盆の時期に行なわれている、初盆の家を中心とした様々な行事や習慣全てが対象です。

文化庁の発表資料には、我が国の盆行事、特に初盆の行事を考える上で貴重なものであるとあります！

正式名は「記録作成等の処置を講ずべき無形の民俗文化財」。とても貴重なもので、ちゃんと記録を取るべきですよ！という文化財に選ばれました。これからみんな



川之浜地区のおしよる船



松地区のモウナ

で協力して、しっかりと調査して記録に残す計画を練っていきましょう。

各地区の地元の皆さんへ

今回の選定は、地元で昔から伝えられてきた行事そのものが認められました。見栄えや体裁を気にして、やり方や時間帯を変えたり、道具を新調したりする必要はありませんし、こうした行事に正解や間違いはありません。各地区や家で伝えられてきたとおりのことを、これからも誇りに思っ、堂々と未来へ伝えていきましょう。

盆行事を見学される方へ

各地の盆行事は、決して単なる見せ物ではありません。家族や地域の大切な仲間を亡くされたことを受けて、お盆の時期に行なわれてきた昔からのささやかな行事です。もし行事を見学したり、写真やビデオに撮ろうとする時は、ちゃんと地元や家族の方に了解を取って、マナーを守り、気持ちよく拝見させて頂くよう、心がけてほしいものです。

文化財防火訓練が行なわれました。

1月26日、文化財防火デーにあわせて二見の町見郷土館で、文化財防火訓練が行なわれました。

消防・役場関係者や、町民有志のみなさんが、真剣な面持ちで重要物の持ち出しや、避難誘導・消火訓練、2階からの救出訓練などを行ないました。

このほか、町内の法通寺・長養寺・瀬戸町民センターなどの消防設備点検などが行なわれました。

文化財はわたしたちの歩んだ歴史をたどるための、身近な共有財産。災害や盗難紛失から守って大切に残したいですね。



平成21年度 人権作文から

人権劇を通して変わった私

伊方中学校3年 山本沙也佳

みなさんは、世の中にどんな差別があるか知っていますか。障害者に対する差別、アイヌの人たちに対する差別、女性に対する差別、高齢者や外国人に対する差別、いじめや同和問題などもあります。私は、小学校や中学校の道徳や教科の中で学習しました。しかし、私の中では特に興味や関心があるものではなく、他人事のように思っていました。そんな私が、昨年の夏、友だちに誘われて学習会のサマーカーンプに参加しました。高松市にある「大島青松園」の訪問でした。そこは、元ハンセン病患者の人たちが住んでいるところです。そこで、二人の元ハンセン病患者の方が、家族との別れの辛さ、園内で受けた差別、悩み苦しんだことなどを、生々しい体験談と共にお話をしてくださいました。差別というものが、はじめて自分のこととして考えられた瞬間でした。

三年になって総合的な学習の時間の班分けて、私は迷うことなく「人権劇制作」を選びました。そこからわずか三人のメンバーでの取組が始まりました。まずは、テーマ決めです。世の中にある差別を考えたとき、学校内での問題について考えたりしました。調べていく中で、少しずつ差別の現実を知り、「それはおかしい」という思いが大きくなっていったように思います。最終的には、先生のアドバイスもあり、「在日朝鮮人に対する差別」について決めました。国籍問題のために夢をあきらめなければならなかったという実話を基に、シナリオづくりが始まりました。主人公の心情や両親の悩みなどを考えていると、何だか自分のこととして討論していく自分がいました。その中で、「現在どんな悩みがあるのか聞いてみたい。」「差別を解消するための組織はないのか。」などの疑問が出てきました。先生に相談すると、新川会館の人に相談していただき、松山市にある四国朝鮮初中級学校への訪問が決まりました。夏休み中の八月四日、松山市に向かう車の中では、朝鮮学校は、北朝鮮と何か関係しているのかな。「私たちが言うて本当大丈夫かな。」などという会話がありました。

今になって考えてみると、こういう考え自体が差別につながると思っていたのだと思います。朝鮮学校に到着すると、女の子三人と女性の先生が笑顔で私たちを出迎えてくださいました。私が抱いていた不安は、彼女たちの笑顔で一瞬にして消し去られました。教室に入り、女性の先生から差別の歴史について話を聞かせていただきました。一九一〇年の韓国併合以来、多くの朝鮮の人たちが日本に強制連行されたり移り住んだりしました。同化政策が採られ、漢津大震災の時には、多くの朝鮮人が処罰されたそうです。戦争が終わっても、朝鮮に帰っても住む所や仕事がないなどの理由で、日本に残る人たちが多かったようです。その人たちを「在日朝鮮人」といいます。その後も、選挙権や仕事の面で差別は続きました。最近では、「チマ・チョリ」という民族衣装を着た女子中学生が、刃物で切られるという事件が起ったそうです。とても傷付いたでしょう。そんなことをする人がいるということが、とても情けなく思いました。また、朝鮮学校は、塾などと同じ各種学校扱いで、国や愛媛県から助成金が出ないそうです。吹奏楽コンクールや総体などへの参加も認められていませんでした。

そつという差別に対して、デモ行進や署名活動をして改善を訴えたそうです。その女性の先生も、大学生の時からそういう活動に参加しました。そういう活動の成果もあって、今では多くのスポーツ大会に参加できるようになった。日本国内での行動の自由が認められるようになりました。その先生のお話の中で私の心に残ったものがあります。「私たちが署名活動をしているとき、それを妨害したり罵声を浴びせたり、無関心な日本人が多くいました。でも、多くの日本人が署名に協力してくれ、励ましの言葉をかけてくれました。とてもうれしかったです。」という話です。私はその時強く思いました。「私も優しく声をかけることができる人になろう。」

平成21年度 人権メッセージから

私にできること

二名津小学校6年 梶原由稀

私の学校には、特別支援学級がある。その友達とは、よく遊んだり話したりする。でも、ときどきその友達に対して、えらそうに言ったり、ひどい態度をとったりすることがある。後からとても後悔してしまふ。自分が情けなく

痛みの分かる人になろう。と三時間ぐらいの短い時間だけたけれど、とても多くのことを感じ、考えさせられました。多くの差別が残っていることや苦しみ悩んでいる人がいること。そして、差別をしているのも人間だし、それをなくそうと頑張る人も同じ人間であるということです。私は、絶対に後者になりたいと思います。今、人権劇のシナリオづくりが終わろうとしています。私たちの思いがしっかりとこもったものができあがりつつあります。実際に演じながらさらに改善するつもりです。それを観てもらうことで私たちの思いが伝わればうれしいです。笑顔が素敵だった朝鮮学校の生徒たちのためにも精一杯頑張ります。

広 報

文 芸

伊方俳句会

配達を心待ちする年賀状

宇都宮法子

不揃ひの手作りの豆鬼やらふ

篠川勝子

杉木立こぼれる夕日春浅し

長野しづ子

日脚伸ぶ放牧の牛声長し

二宮寿賀子

水澄みて大吟醸の初洗ひ

上田 益男

初雪に今朝の静けさ銀世界

辻 満晴

雨上り白梅の白光りあふ

明神つた子

終挿し夫は小声で豆を撒く

宇都宮睦子

たのもしき男料理の鰯大根

池田君子

明石寺夫婦で結ぶ初みくじ

足利敦子

大寒を勞わり合ひて受話機置

梶谷千代子

此処に人棲みし証や黄水仙

門田千枝

白銀の庭に紅濃く寒椿

田中初子

着ぶくれて仔犬の後追ひ脱メ

石井義夫

目薬の終の一滴風光る

山崎美喜

一人居の老いる佗しさ落椿

上田サチエ

立春の籠の目白の目白呼ぶ

渡辺日出子

山茶花の散り敷く山路歩のこー

上田幸香

凍空にねぐら捜して群鵜

井上良枝

幸せの恩恵み賜る去年今年

篠川晴子

夢多き皴の手語る草の餅

木戸悦子

瀬戸句会

節分や豆まく里は寡婦ばかり

佐々木忠雄

独り者つい酒に手が冬ごもり

岡本 登

小春や沖の宙航く貨客船

八代征雄

甘酒をゲートの衆に鍋ごとに

浅井ミドリ

寒鹿尾菜灯りに透かし刈り急

佐々木サチ子

野水仙病の友に贈りたし

結城励子

慕いくる野猫に餌置く雪の朝

井上幸子

溜りたる落葉を掃きて朝湯か

佐々木 煦

煮凝りや夜明けのバイク止ま

佐々木禮子

節分会炒り豆を置く女坂

大星幸子

啓蟄というに辞表を書く漢

北 英二

春遠い心の病不安なり

加藤慶子

冬すみれ彼方此方の友気がか

吉見福子

梅の花昨日二つ今朝三つ

道下雅勝

首伸ばし亀が餌乞ふ冬港

大野律子

鹿尾菜干し浜辺が黒き帯とな

安田増子

冬温し海亀遊ぶ三机湾

長谷美久仁

老夫婦二人の家の鬼やらふ

山本タカエ

雪降る夜膝まで浸り鹿尾菜刈

高地瑠美子

三机句会

あみだ句会

初雪に戯れる子のなく過疎の

西上ミツヨ

束の間の陽の温もりや寒椿

阿部ヨシ子

食べながら歓声になるお正月

菊池タツエ

日向ほこする人なくて吾一人

中村千代香

逝きし子の夢みる年や三ヶ日

池上松子

湯たんぽの温もり母のぬくも

高月 仁

現役を譲らぬ漁師冬の濤

木原敬明

本積んで浸るしあわせ冬籠り

塩崎信子

藪入りや寝ものがたりの妻の

池井為吉

顔 駅伝や医師も生徒となりスター

池上 馨

